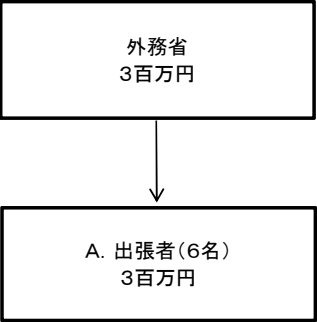


平成23年行政事業レビューシート (外務省)

事業名	国際援助政策協調等に必要な経費		担当部局庁	国際協力局		作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成22年度開始		担当課室	開発協力企画室		室長 横田 敬一			
会計区分	一般会計		施策名	VI-1 経済協力					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条第1項第1号(ハ)、24号及び同法第7条第1項		関係する計画、通知等	—					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	DAC等、国際場裡での開発協力をに係る議論においては、欧州を中心としたドナーの論理を中心に議論が展開され、我が国の援助理念・アプローチとは必ずしも親和性のある議論とはならず、ときには我が国が開発協力を実施していく上での障害ともなりかねない場合があることから、欧米の主要なドナーに対し、我が国の援助理念・アプローチに対するきちんとした理解が形成されることを図る。また、紛争と脆弱国際ネットワーク(INCAF)会合出席を通じ、国際社会における平和構築についての議論に積極的に参加することは重要である。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	OECD・開発援助委員会(DAC)メンバーである先進ドナーとの間の二国間の援助政策協議出席 DAC・紛争と脆弱国際ネットワーク(INCAF)会合出席								
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託等 ☐ 補助 ☐ 貸付 ☐ その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)			20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	予算の状況	当初予算	—	—	4	6	3		
		補正予算	—	—	—	—			
		繰越し等	—	—	—	—			
		計	—	—	4	6	3		
	執行額		—	—	3				
	執行率(%)		—	—	87%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (23年度)	
	成果目標: 日本の援助理念やアプローチに対する理解を促進させ、重要な国際会議において日本の主張への理解を促進。 成果実績: 二か国間での援助政策協議国の数			成果実績	協議国数	—	—	3カ国	3カ国
				達成度	%	—	—	100	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込	
	○援助政策協議等参加 2回			活動実績 (当初見込み)	回数	—	—	2回 (3回)	3回 ()
単位当たりコスト	(550千円/協議等参加)			算出根拠	○協議等参加2回(6名出席)に対して3,300千円を支出。				
平成23・24年度予算内訳 (単位:千円)	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由					
	職員旅費(外国旅費)	5,736	3,174						
	在外職員旅費	0	0						
	計	5,736	3,174						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	－	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	－	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	援助政策協議等の出張経費として適切に活用。		
予算監視・効率化チームの所見			
抜本的改善	事業見直しによる減額		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減(事業見直しによる減額)			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			

※平成22年度実績を記入



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.			E.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト
A.出張者

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人A	旅費	0.8		
2	個人B	〃	0.7		
3	個人C	〃	0.6		
4	個人D	〃	0.5		
5	個人E	〃	0.4		
6	個人F	〃	0.3		
7					
8					
9					
10					